

第2期

10月～
2021年3月

熱中小学校 丸森復興分校

受講生募集!



第2期の授業がクラウドファンディングの返礼となります。



丸森町町民で被災された方やボランティアをされた方には**無料の聴講生制度**があります!

受講生メリット

- ・Eラーニング制度あり 聴講生・生徒共通
- ・熱中パスポート制度あり 聴講生・生徒共通
- ・齋理屋敷の年間パスポート発行(入場無料) 生徒



PCやスマホからも受講可能!

Zoomを使用し、当日どこからでも学ぶことができます。

丸森復興分校 校長

佐藤 勝栄

一般財団法人丸森町観光物産振興公社 理事長 蔵の郷土館齋理屋敷 館長

場所

〒981-2165 宮城県伊具郡丸森町町西 25 蔵の郷土館 齋理屋敷

10月11日(日) 13時～17時



若宮 正子 情報教諭

1935年東京生まれ。60歳からパソコンを独学で習得し、81歳となる2016年秋からiPhoneアプリの開発を始め、翌2017年2月にゲームアプリ「hinadan」をリリース。2017年6月には米国アップルによる世界開発者会議「WWDC 2017」に特別招待され、ティム・クック CEO から最高齢プログラマーとして紹介され一躍注目を集める。安倍政権の看板政策「人づくり革命」の具体策を検討する「人生100年時代構想会議」の最年長有識者議員に就任。2018年2月にはNY国連本部の社会開発委員会のイベントでスピーチを行う。



金川 裕一 生活教諭

横河レンタリース株式会社代表取締役会長。早稲田大学教育学部卒業。1982年4月、横河電機製作所(現・横河電機株式会社)入社。1996年11月、現在のキューアンドエー株式会社の前身の会社を社内ベンチャー制度に応募して設立し、ICT関連のコールセンターおよび訪問サポート事業を展開し200億円企業にした後、2016年に横河レンタリース(株)の社長に就任。20年以上の社長業を通した様々な経験や学生、社会とバレーボールの現役、監督、コーチに約50年間携わってきた体験から「企業、起業の成功の秘訣」から「働く上で何が大事か」「人生において大事なものは何か」まで皆さんと議論しながら講演できればと思います。

10月31日(土) 13時～17時



中村 寛治 放送室担当教諭

株式会社ヒューマンセントリック代表取締役。福岡県北九州市出身。佐賀大学を卒業後、1990年より日本サン・マイクロシステムズの営業として活動。1996年より日本オラルに移籍、九州、山口、沖縄の責任者である西部支社長を経て2004年6月に、人中心という企業理念を社名としたヒューマンセントリックを創業。外資系IT企業の営業現場で培ったノウハウをベースに、企業向け「動画プレゼンテーション」というこれまでになかったサービスを開始。業界トップレベルの実績を有する。熱中小学校では「これが動画面です!」を座右の銘に授業を行う。



阿武隈急行の
駅スタンプ制作に挑戦!

小杉 博俊 発想図工教諭 オンラインワークショップ

発想仕事人。1942年やままいか精神溢れる遠州生まれ。世に無いモノを創りたいとプロダクトデザインを学び、へりくつ発想で世界初のモノ(デジタル式体温計「けんおんくん」・女性向け手帳「レノマ手帳」・CDを90円で郵送できる「CDメールバック」など)を企業に提案し続け、その多くをロングセラー商品に育ててきました。また伝統を重んじる出雲大社に御本殿大屋根の檜皮を紙に再利用する提案など、分野にとわれないモノづくりにしてきました。最近では紙のデジタル化に夢中で「静電モーターで動く超大型浮世絵」で第69回広告電通賞を受賞。2019年から各地の熱中小学校で「地元郵便局のQRコード付き風景印デザイン実習」を行い、第7回プラチナ大賞キャリア構想賞を受賞。今回はオンラインで「あぶくま駅復旧記念QRコード付きスタンプ」デザインをみなさんと挑戦します。

授業日程・講師陣紹介

毎回13時～17時



内海 弦 理科教諭

11月21日(土)

アーム株式会社社長。高島熱中小学校校長。1987年、インテルジャパン株式会社(現インテル株式会社)に入社。1989年から1990年Intel Corp.本社サタクララ勤務。1991年から1995年まで、フィールドアプリケーションエンジニアとして国内PC顧客のDesign win 活動に従事。ワイヤレス技術センターおよびフィールドアプリケーション本部部長代理。2003年から2008年、テンシリカ株式会社勤務にて、フィールドアプリケーションディレクターとして勤務。2008年11月アーム株式会社入社。OEMセールスを経て2010年よりセールスVPに就任。2013年代表取締役社長に就任。趣味は鉄道模型、高島熱中小学校廃校スペースに東北最大のジオマ製作中。



成澤 俊輔 社会教諭

11月21日(土)

佐賀県出身。学生時代より株式会社ジェイブレインで経営コンサルティング・人材ビジネス全般を経験。2011年12月より就労困難者の雇用創造に取り組むNPO法人FDAに参画し約8年半経営をする中で2016年ハーバードビジネスレビュー「未来をつくるU40経営者」に選出。2017年日本でいちばん大切にしたい会社大賞実行委員会特別賞を受賞。2018年株式会社YOUTURN取締役に就任。



大原 あかね 美術教諭

12月19日(土)

公益財団法人大原美術館理事長。1967年生まれ。倉敷市在住。一橋大学経済学部卒業。青山学院大学大学院国際政治経済学研究所修了。金融工学研究所勤務を経て、2000年に同美術館理事長に就任。2011年より専務理事を務め、2016年に理事長職を父の大原謙一郎氏から引き継いだ。2020年11月には、開設90周年に合わせた記念事業として倉敷美観地区に新展示施設「新児島館(仮称)」を開館する。



立花 貴 生活教諭

12月19日(土)

1969年宮城県生まれ。東北大学卒業。伊藤忠商事入社。2000年に食流通関連会社で起業。震災後、地元宮城に戻り石巻市雄勝町を中心に支援活動にあたる。町内の築100年の廃校を改修し、2015年夏、こどもたちへ循環する暮らしの体験を提供する「モリウミアス」をオープン。世界中から交流人口を増やし雇用創出と地域経済を活性化する活動により、平成26年度「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞や第3回日経ソーシャルイニシアチブ大賞(東北部門賞)他を多数受賞。公益社団法人MORIUMIUS代表理事、一般社団法人東の会理事、公益社団法人3.11震災孤児遺児文化・スポーツ支援機構理事。



寛正 寛治 社会教諭

1月16日(土)

元厚生労働省鹿児島労働局長。1952年生まれ大阪府出身静岡大学法経学専攻科を修業後の、労働省(現厚生労働省)に入省。労働基準監督官として山形や会津などで勤務するほか、本省では「地下鉄サリン事件」や「阪神淡路大震災」などの労災認定も担当。熱中小学校では、欧米人と日本人との労働倫理観の相違からみた「はたらく」ことの意味、人間は誤りを犯す動物という視点からのヒューマンエラーの防止など「はたらく」ことまわりの元気とする気の出る話をわかりやすくお伝えします。



開沼 博 社会教諭

1月16日(土)

立命館大学准教授。1984年福島県いわき市生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得退学。専門は社会学。地域と政治・経済・文化習俗・メディア・科学・災害などとの関係をフィールドワークや歴史研究から研究するとともに、行政・企業・メディア・学校との様々な実践活動を進めている。著書に『はじめての福島県』『漂白される社会』『福島第一原発廃炉困難』など



寺本 英二 社会教諭

2月20日(土)

島根県邑南町役場職員、邑南町観光協会常務理事。1971年生まれ。東京農業大学卒。島根県邑南町農林振興課 食と農の産業戦略室 係長として、地場産品発掘・ブランド化、定住促進、観光振興・交流、若者自立支援などを担当。総務省「地域力創造アドバイザー」を兼務。全国の自治体から注目されている町おこしのトップランナー。邑南町のA級グルメのまちの仕掛け人。他にも道の駅、町営イタリアンレストラン、食の学校、耕すシェフの研修制度など、大胆な事業を打ち出し、答えは地域にあると、10年先の先を見据えながら邑南町を盛り上げる熱血公務員。2016年9月NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」にて特集。



石井 重成 社会教諭

2月20日(土)

国際基督教大学を卒業後、経営コンサルティング会社を経て、東日本震災を機に岩手県釜石市へ。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括し、人口減少時代の持続可能なまちづくりを追求。「地域に関わりながらキャリアを形成すること」の現在地と可能性を『Arts of Local Career ローカルキャリア白書』として編纂。講演やハンズオン支援を通じて地域の人材育成・地方創生を支援し、都市部企業との共創を推進。釜石市オープンシティ推進室長、一般社団法人地域・人材創機構代表理事、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、総務省地域情報化アドバイザー、青森大学客員准教授など。



玉川 憲 起業教諭

3月13日(土)

日本IBM基礎研究所でウェアラブルコンピュータの研究開発に従事。その後、ソフトウェア事業部にてソフトウェア開発プロセスの講師、コンサルティング、マネージメント等を歴任。2010年に現アマゾンウェブサービスジャパンに入社し、日本のAWSクラウド事業立ち上げチームに参画。AWS技術研修を2015年春に卒業。2015年に株式会社ソラコムを創業。日本発のIoTグローバルプラットフォームを目指す。東京大学工学系大学院機械情報工学科修了。米国カーネギーメロン大学MBA(経営学修士)修了、同大学MSE(ソフトウェア工学修士)修了。



竹村 謙 特任用務員

3月13日(土)

オフィス・コロボック創設メンバーの一人。超大型汎用コンピュータの営業職として日本IBMに入社。パソコン事業部に在籍中はDOS/Vの商品企画や、モバイルPC「ThinkPad」の商品企画、戦略を担当。早期退職後、富山大学芸術文化学部の教授、非常勤講師として10年間「ブランドデザイン」等の教鞭をとる。現在はICT企業の顧問やプロダクト・プロデューサーとして各種商品開発を行う一方、商用WEBサイト上で「IT教授の戦略的備前員」や「本日の一品」等の連載コラムを持つ。観やオリジナルのツッパメント等をプロデュースする「Thinking Power Project」の創設メンバーでもある。

主催：一般社団法人 熱中学院
後援：丸森町・一般財団法人丸森町観光物産振興公社
支援：株式会社 内田洋行 / 有限会社 ST-WORKS / 信金中央金庫
日本財団・東京東信用金庫 / 熱中小学校ボランティア部

